

所属名称	施策名	事業番号	事業名	評価区分	ページ番号
建設課	定住化の促進	7041	住宅共通経常管理費	簡易	1
建設課	定住化の促進	7054	建築物耐震診断等事業費補助金	簡易	2
建設課	定住化の促進	7058	木造住宅耐震改修事業費補助金	簡易	3
建設課	定住化の促進	7067	公営住宅等経常管理費	簡易	4
建設課	定住化の促進	7081	特公賃・その他住宅等経常管理費	簡易	5
建設課	道路網の整備	6647	土木総務経常管理費	簡易	6
建設課	道路網の整備	6663	土木総務臨時管理費	簡易	7
建設課	道路網の整備	6670	道路橋梁総務経常管理費	簡易	8
建設課	道路網の整備	6703	道路維持経常管理費	簡易	9
建設課	道路網の整備	6714	道路維持補修事業費	簡易	10
建設課	道路網の整備	6739	除排雪事業費	簡易	11
建設課	道路網の整備	6776	除雪車整備事業費	簡易	12
建設課	道路網の整備	6776-0	除雪車整備事業費	簡易	13
建設課	道路網の整備	6780	社会資本統合整備交付金事業	簡易	14
建設課	道路網の整備	6785	道路河川愛護費	簡易	15
建設課	道路網の整備	6800	単独改良事業費	簡易	16
建設課	道路網の整備	6837	町道単独舗装事業費	簡易	17
建設課	道路網の整備	6852	町道富東谷線改良事業費	簡易	18
建設課	道路網の整備	6863	町道中林線改良事業費	簡易	19
建設課	道路網の整備	6885	補助 橋梁整備事業費	総合	20
建設課	道路網の整備	6894	単独 橋梁整備事業費	簡易	22
建設課	道路網の整備	6933	真開橋橋梁改修事業費	簡易	23
建設課	道路網の整備	13021	町道竹田古川線改良事業費	総合	24
建設課	農業の振興	5228	小規模土地改良事業費	簡易	26
建設課	農業の振興	5241	農業用施設管理費	簡易	27
建設課	農業の振興	5301	香々美ダム経常管理費	簡易	28
建設課	農業の振興	5328	香々美ダム臨時管理費	簡易	29
建設課	農業の振興	5335	小公園経常管理費	簡易	30
建設課	農業の振興	5289	農村地域防災減災事業	簡易	31
建設課	農業の振興	5424	国土調査経常管理費	簡易	32
建設課	防災対策の推進	6967	普通河川水村川河川改修事業費	簡易	33
建設課	防災対策の推進	6957	河川維持補修費	簡易	34
建設課	林業の振興	5641	泉山線開設事業費	簡易	35
建設課	林業の振興	5665	治山林道管理費	簡易	36
建設課	林業の振興	5713-0	美作北線改良事業費	簡易	37
建設課	林業の振興	5581	粟倉木屋原線改良事業費	簡易	38

事業番号	事務事業名	住宅共通経常管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
07041	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	住宅係		
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	公営住宅法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	建築業務全般に必要な経常経費及び建築業務の研修会参加の負担金等を計上している。	建築係員の技術向上のため(事業実績調査については平成24年度より開始)
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 技術員の数	人	見込	3	3	3	3
	イ 実績	人	見込	3	3	3	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 研修・出張した延べ人数	人	目標	15	15	15	15
	イ 実績	人	見込	10	9	6	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 研修・出張回数	件	目標	15	15	15	15
	イ 実績	件	見込	10	9	6	
④施策(事務事業を何に結び付けるのか)	ア 研修・出張への参加	人	目標	66.7%	60.0%	40.0%	
	イ 係内・関係課との協議	件	見込	20	20	20	20
	ウ 適成率	件	実績	20	13	18	
	ア 研修・出張への参加	月	目標	100.0%	65.0%	90.0%	
	イ 係内・関係課との協議	月	実績	12	12	12	12
	ウ 適成率	月	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町民	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
イ 町外の住民	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ	エ

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	06	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	住宅費	住宅管理費	01	03	住宅共通経常管理費				07041				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債								町 債							
その他特財								その他特財	411						
一般財源	414	494	421	662			-73	一般財源	1	449	375	662		-74	
合計	414	494	421	662	0	-73	合計(A)	412	449	375	662	0	-74		
財源名称						従事正職員人数		1	1	1	1				
						延べ業務事務時間		20	20	20	20				
						人件費計(千円)(B)		67	67	69	69	0	2		
	最終予算額	421 千円	予算執行率	89.0%	トータルコスト(A+B)		479	516	444	731		-72			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	建築係員の技術向上のための費用であり、今後も継続して実施する必要がある。
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	建築物耐震診断等事業費補助金	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
07054	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	住宅係		
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	鏡野町建築物耐震診断等事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・町民の民間建築物、住宅の耐震診断に係る費用の一部を補助し耐震対策を施すことにより地震による人的・経済的被害を軽減させる。 ・耐震診断のできる県知事指定の建築士事務所により耐震診断を行った場合、その費用の一部を補助する。	平成16年中越地震を始め、19年能登半島地震、20年の岩手宮城内陸地震等の発生による甚大な人的・経済的被害が発生している。また岡山県では南海・東南海地震が予測される中、被害を最小限に食い止めるため、国の法整備、県の計画立案に合わせて開始された。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込	12,358	11,627	11,455	11,280
			実績	12,358	11,627	11,855	
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住宅の耐震診断	ア 耐震診断等実施件数	件	目標	6	1	1	1
			実績	0	0	1	
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	-
イ	イ		目標				
			実績				
			達成率				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請受付、相談等	ア 申請受付件数	件	目標	6	1	1	1
			実績	0	0	1	
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	-
イ 補助金交付	イ 補助金交付件数	件	目標	6	1	1	1
			実績	0	0	1	
			達成率	0.0%	0.0%	100.0%	-

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町民	ア	住み続けてもらう					
イ 町外の住民	イ	転入してもらう					
ウ	ウ	雇用の場を創出する					
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	06	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	住宅費	住宅管理費	01	05	建築物耐震診断等事業費補助金				07054				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	
国庫支出金			30	40		30	国庫支出金			30	40			30	
県支出金			15	20		15	県支出金			15	20			15	
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源			15	20		15	一般財源			15	20			15	
合計			60	80		60	合計(A)			60	80			60	
財源名称	建築物耐震診断補助事業補助金(国費)				従事正職員人数		1	1	1	1					
	建築物耐震診断補助事業補助金(県費)				延べ業務事務時間		10	10	10	10					
					人件費計(千円)(B)		34	33	34	34					1
	最終予算額	60 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		34	33	94	114					61

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		近年、全国的に地震が多発しており、国は住宅の耐震化を進める目的で、R7 年度から補助金の増額を行うこととしている。当町においても住宅の耐震化率を上昇させるため継続して事業を行う必要がある。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	木造住宅耐震改修事業費補助金	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
07058	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	住宅係		
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	鏡野町木造住宅耐震改修事業費補助金交付要綱		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・町民の民間建築物、住宅の耐震改修に係る費用の一部を補助し、耐震対策を施すことにより人的・経済的被害を軽減させる。 ・見積を所有者に徴収してもらい、耐震改修のみに係る補助額を算定し補助を行う。	平成19年から耐震診断事業を開始し、診断結果を踏まえた改修に対する補助事業として平成25年から取り組んでいる。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町民	ア 人口	人	見込	12,358	11,627	11,455	11,280
			実績	12,358	11,627	11,855	
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 住宅の耐震改修	ア 耐震改修実施件数	件	目標	1	1	1	1
			実績	0	0	0	
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	
イ	イ		目標				
			実績				
			達成率				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 申請受付、相談等	ア 補助金受付件数	件	目標	1	1	1	1
			実績	0	0	0	
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	
イ 補助金受付	イ 補助金交付件数	件	目標	1	1	1	1
			実績	0	0	0	
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町民	ア	住み続けてもらう					
イ 町外の住民	イ	転入してもらう					
ウ	ウ	雇用の場を創出する					
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	06	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	住宅費	住宅管理費	01	07	木造住宅耐震改修事業費補助金				木造住宅耐震改修事業費補助金				07058
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金				1,040			国庫支出金				1,040				
県支出金				520			県支出金				520				
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源				520			一般財源				520				
合計				2,080	0	0	合計(A)				2,080	0	0	0	
財源名称	木造住宅耐震事業費補助金(国費)						従事正職員人数	1	1	1	1				
	木造住宅耐震事業費補助金(県費)						延べ業務事務時間	10	10	10	10				
							人件費計(千円)(B)	34	33	34	34	0	1		
	最終予算額	0 千円	予算執行率				トータルコスト(A+B)	34	33	34	2,114			1	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		近年、全国的に地震が多発しており、国は住宅の耐震化を進める目的で、R7年度から補助金の増額を行うこととしている。当町においても住宅の耐震化率を上昇させるため継続して事業を行う必要がある。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	公営住宅等経常管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
07067	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	住宅係		
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	公営住宅法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	・町内8か所55戸の公営住宅法により建設された町営住宅の維持管理を行う事業	
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・入居者からの修繕申し出があつたら現地で調査し、直営で対応できないものは業者へ発注し、費用は住宅使用料を充当する。 住宅:芳野団地 4戸、竹田団地 6戸、小座団地 19戸、円宗寺団地 10戸、湯の坂団地 8戸、細田団地 4戸、女原団地 2戸、羽出団地 2戸	昭和45年度の町営住宅の供用開始時より、老朽化等による建築物又は備付備品の破損修繕及び維持管理のため開始された。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町営住宅施設	ア 管理戸数	戸	見込	55	55	55	55
			実績	55	55	55	
イ			見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支障なく使ってもらう	ア 修繕件数	件	目標	10	10	10	10
			実績	16	12	10	
			達成率	160.0%	120.0%	100.0%	
イ 家賃を納付してもらう	イ 家賃収納率	%	目標	100	100	100	100
			実績	99	98	98	
			達成率	99.0%	98.0%	98.0%	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 入居者の修繕申出受付	ア 申出件数	件	目標	10	10	10	10
			実績	16	12	10	
			達成率	160.0%	120.0%	100.0%	
イ 苦情などの処理	イ 苦情処理件数	件	目標	5	5	5	5
			実績	3	3	6	
			達成率	60.0%	60.0%	120.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町民	ア	住み続けてもらう					
イ 町外の住民	イ	転入してもらう					
ウ	ウ	雇用の場を創出する					
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	06	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	住宅費	住宅管理費	02	19	公営住宅等経常管理費				07067				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債								町 債							
その他特財								その他特財	2,465						
一般財源	3,846	1,038	2,899	3,207		1,861	一般財源	790	996	2,861	3,207				1,865
合計	3,846	1,038	2,899	3,207	0	1,861	合計(A)	3,255	996	2,861	3,207	0	1,865		
財源名称						従事正職員人数		3	3	3	3				
						延べ業務事務時間		60	60	60	60				
						人件費計(千円)(B)		202	200	206	206	0	6		
最終予算額 2,899 千円			予算執行率 98.6%		トータルコスト(A+B)		3,457	1,196	3,067	3,413	1,871				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			公営住宅法により建設された町営住宅の維持管理に必要なため、今後も継続して事業を行う必要がある。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	特公賃・その他住宅等経常管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
07081	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	住宅係		
	施策名	45 定住化の促進	根拠法令等	特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	・町内6か所の40戸の特公賃、その他住宅の維持管理を行う事業。	
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・入居者からの修繕申し出があったら現地で調査し、直営で対応できないものは業者に発注し、費用は住宅使用料を充当する。 住宅:細田2戸、寺ヶ原6戸、中原6戸、ヴィラヤマセミ13戸、エコロマンの丘3戸、ハイランドKAMISAIHARA10戸の6団地、40戸。	平成5年度の町営住宅の供用開始時より、老朽化等による建物又は備付備品の破損修繕及び維持管理のため開始された。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町営住宅施設	ア 管理戸数	戸	見込	42	40	40	40
			実績	42	40	40	
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 支障なく使ってもらう	ア 修繕件数	件	目標	10	10	10	10
			実績	16	12	6	
			達成率	160.0%	120.0%	60.0%	
イ 家賃を納付してもらう	イ 家賃収納率	%	目標	100	100	100	100
			実績	97	98	100	
			達成率	97.0%	98.0%	100.0%	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 入居者の修繕申し出受付	ア 申出件数	件	目標	10	10	10	10
			実績	16	12	6	
			達成率	160.0%	120.0%	60.0%	
イ 苦情などの処理	イ 苦情処理件数	件	目標	5	5	5	5
			実績	6	3	2	
			達成率	120.0%	60.0%	40.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町民	ア	住み続けてもらう					
イ 町外の住民	イ	転入してもらう					
ウ	ウ	雇用の場を創出する					
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	06	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	住宅費	住宅管理費	02	20	特公賃・その他住宅等経常管理費				特公賃・その他住宅等経常管理費				07081
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債								町 債							
その他特財								その他特財	3,512						
一般財源	3,863	4,546	4,226	4,466			-320	一般財源	5	4,543	4,201	4,466		-342	
合計	3,863	4,546	4,226	4,466	0		-320	合計(A)	3,517	4,543	4,201	4,466	0	-342	
財源名称								従事正職員人数	2	2	2	2			
								延べ業務事務時間	100	100	100	100			
								人件費計(千円)(B)	336	334	344	344	0	10	
	最終予算額	4,226 千円	予算執行率	99.4%				トータルコスト(A+B)	3,853	4,877	4,545	4,810		-332	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			特公賃・その他住宅の維持管理に必要なため、今後も継続して事業を行う必要がある。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	土木総務経常管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06647	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・道路、河川等の整備を促進する各期成会への参画事業。 ・会議出席、要望活動(国土交通省・県選出国会議員・岡山県)負担金支出身務。	土木事業全般を管理するため的一般事務費
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国、県、町道	ア 路線延長	km	見込	625	625	625	625
			実績	625	625	625	625
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 国県道を最適化に改良・維持	ア 県による適切対応	式	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1
イ	イ		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 要望活動(岡山県、国土交通省、国会議員)	ア 陳情、要望活動回数	回	目標	15	15	15	15
			実績	15	15	15	15
イ 負担金支出事務	イ 総会、幹事会への出席回数	回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—
			目標	18	18	18	18
			実績	18	18	18	18
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図				
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる					
イ 町内の国・県道	イ						
ウ	ウ						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	01	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	01	02	土木総務経常管理費				土木総務経常管理費				06647
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財		4	4	4			その他特財			4	4	4			
一般財源	1,039	952	942	966		-10	一般財源	889	929	775	966		-154		
合計	1,039	956	946	970	0	-10	合計(A)	889	933	779	970	0	-154		
財源名称						従事正職員人数	1	1	1	1					
						延べ業務事務時間	15	15	15	15					
						人件費計(千円)(B)	50	50	52	52	0	2			
	最終予算額	946 千円	予算執行率	82.3%	トータルコスト(A+B)	939	983	831	1,022				-153		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		期成会等への負担金であり、今後も継続する必要がある。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	土木総務臨時管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06663	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	砂防事業に係る砂防指定地申請書の作成業務委託。 (竜塔川及び家奥川)	河川及び渓流の流域に山腹崩壊や渓岸浸食が起きており、土石流が発生する可能性があるため、砂防指定地として事業化する。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 砂防指定地	箇所	見込			1	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	イ	実績				1	
		見込					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 砂防指定地を指定	箇所	目標			1	
④対象指標	イ	実績				1	
		達成率				100.0%	—
⑤成果指標(意図の達成度)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 発注件数	件数	目標			1	
⑥活動指標	イ	実績				1	
		達成率				100.0%	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる					
イ 町内の国・県道	イ						
ウ	ウ						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	01	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	01	03	土木総務臨時管理費				土木総務臨時管理費				06663
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源			1,300			1,300	一般財源				1,295				1,295
合計	0	0	1,300	0	0	1,300	合計(A)	0	0	1,295	0	0	0	1,295	
財源名称							従事正職員人数			1				1	
							延べ業務事務時間			10				10	
							人件費計(千円)(B)	0	0	34	0	0	0	34	
	最終予算額	1,300 千円	予算執行率	99.6%	トータルコスト(A+B)					1,329				1,329	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		関係機関と調整し、適切に業務を処理することができた。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	道路橋梁総務経常管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06670	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	各年度の町道の認定、廃止、区域の変更データを更新し、普通交付税等の統計資料を作成し、適切な道路管理の資料として利用する。	道路法に基づき行政財産として、適切な管理を行う。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 町道及び付帯施設	km	見込	460	460	460	460
イ			実績	460	460	467	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 町道の適切な台帳整備	件	目標	10	10	10	10
イ			実績	7	0	7	
			達成率	70.0%	0.0%	70.0%	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 町道台帳修正業務	件	目標	1	1	1	1
イ 町道路線網図作成業務			実績	1	0	1	
			達成率	100.0%	0.0%	100.0%	
イ	修正業務の発注	件	目標	1	1	1	1
			実績	1	0	1	
	イ 網図作成業務の発注	件	達成率	100.0%	0.0%	100.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる					
イ 町内の国・県道	イ						
ウ	ウ						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路橋梁総務費	01	02	道路橋梁総務経常管理費				道路橋梁総務経常管理費				06670
予算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債								町 債							
その他特財								その他特財	2,634						
一般財源	3,450	627	3,240	3,267		2,613	一般財源		406	3,173	3,267			2,767	
合計	3,450	627	3,240	3,267	0	2,613	合計(A)	2,634	406	3,173	3,267	0	2,767		
財源名称						従事正職員人数		1	1	1	1				
						延べ業務事務時間		10	10	10	10				
						人件費計(千円)(B)		34	33	34	34	0	1		
	最終予算額	3,240 千円	予算執行率	97.9%		トータルコスト(A+B)		2,668	439	3,207	3,301		2,768		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地						道路法に基づくものであり、今後も継続する必要がある。		
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	道路維持経常管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06703	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
☑ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	土木工事の設計書作成に伴う、積算システム及び設計図書作成システムの利用委託料と保守管理料	土木積算・設計業務の適切及び迅速化を図るため毎年度契約
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標			単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア	利用者数	人			見込	5	5	5
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	ア	土木事業設計書の的確性・迅速性の向上	件	目標	実績	見込	5	5	9
	イ					実績			
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	ア	委託契約事務	件	目標	実績	目標	35	35	35
	イ					実績	38	137	136
	ア	システムの利用数	件	達成率	108.6%	達成率	108.6%	391.4%	388.6%
	イ								
	ア	契約件数	件	目標	実績	目標	2	2	2
	イ					実績	2	2	2
	ア			達成率	100.0%	達成率	100.0%	100.0%	100.0%
	イ								

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)									
属する施策の対象					属する施策の意図				
ア 町道					ア 快適で安全な通行ができる				
イ 町内の国・県道					イ				
ウ					ウ				
エ					エ				

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名			事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路維持費	01	01	道路維持経常管理費					06703		
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比
国庫支出金								国庫支出金						
県支出金								県支出金						
町 債								町 債						
その他特財								その他特財						
一般財源	1,203	1,206	1,249	1,598			43	一般財源	1,187	1,202	1,244	1,598		42
合計	1,203	1,206	1,249	1,598	0	43	合計(A)	1,187	1,202	1,244	1,598	0	42	
財源名称						従事正職員人数		1	1	1	1			
						延べ業務事務時間		4	4	4	4			
						人件費計(千円)(B)		13	13	14	14	0	0	
	最終予算額	1,249 千円	予算執行率	99.5%	トータルコスト(A+B)		1,200	1,215	1,258	1,612			42	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			業務に必要なシステムであり、今後も継続する必要がある。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	道路維持補修事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06714	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	道路の陥没等においては、建設課職員の直営作業により早急な補修を行っている。	車両及び歩行者の通行を安全性・安心性かつ快適さを確保するため。
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	緊急性の高い請負工事については、随意契約により発注し早期対応による安全性の確保に努めている。 また、指定路線の町道において年1回の除草業務委託を発注している。	町民を始め、区長や関係機関からの要望・協議などにより対応しています。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道総延長	km	見込	460	460	460	
			実績	460	460	467	
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道の適切な維持管理	ア 事故件数	件	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	
イ 改善要望に対応する	イ 対応率	%	目標	100	100	100	100
			実績	70	70	70	
			達成率	70.0%	70.0%	70.0%	-
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 道路のパトロール	ア パトロールに回数	式	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
イ 補修工事の発注数	イ 補修箇所	箇所	目標	125	130	130	130
			実績	125	155	104	
			達成率	100.0%	119.2%	80.0%	-

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる					
イ 町内の国・県道	イ						
ウ	ウ						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路維持費	02	01	道路維持補修事業費					道路維持補修事業費			
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債								町 債							
その他特財								その他特財							
一般財源	133,179	125,903	125,304	97,857			-599	一般財源	132,306	115,457	121,213	97,857			5,756
合計	133,179	125,903	125,304	97,857	0	-599	合計(A)	132,306	115,457	121,213	97,857	0			5,756
財源名称						従事正職員人数		10	10	5	5				-5
						延べ業務事務時間		2,800	2,800	1,400	1,400				-1,400
						人件費計(千円)(B)		9,414	9,338	4,809	4,809	0			-4,529
	最終予算額 125,304 千円	予算執行率	96.7%	トータルコスト(A+B)		141,720	124,795	126,022	102,666						1,227

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			道路の修繕費であり、今後も継続する必要がある。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	除排雪事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06739	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	毎年12月1日から3月31日の4ヶ月間を除雪作業期間と定め、鏡野町内の国、県、町道の道路除雪業務を全て委託業務により実施する。	鏡野町内では冬期間において降雪があり、除雪により安全な交通網の確保が必要であるため。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道及び付帯施設	ア 町道総延長	km	見込	460	460	460	460
			実績	460	460	460	
イ	イ 国県道総延長	km	見込	165	165	165	165
			実績	165	165	165	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道の適切な維持管理	ア 通行不能件数	件	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	
イ	イ		達成率	—	—	—	—
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 現場監督、指示	ア 除雪日数	日	目標	50	50	80	80
			実績	99	88	125	
イ	イ		達成率	198.0%	176.0%	156.3%	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町道	ア			イ	快適で安全な通行ができる		
イ 町内の国・県道	イ			ウ			
ウ	ウ			エ			
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路維持費		03	01	除排雪事業費				06739
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金	15,000							
県支出金	150,000	87,000	142,000	70,200		55,000	県支出金	137,279	123,646	170,113	70,200			46,467	
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源	98,612	34,490	67,458	29,393		32,968	一般財源	40,438	7,569	39,206	29,393			31,637	
合計	248,612	121,490	209,458	99,593	0	87,968	合計(A)	192,717	131,215	209,319	99,593	0		78,104	
財源名称	国県道除雪委託金						従事正職員人数	5	5	5	5				
	臨時道路除雪事業費補助金						延べ業務事務時間	2,000	2,000	2,000	2,000				
							人件費計(千円)(B)	6,724	6,670	6,870	6,870	0	200		
	最終予算額	209,458 千円	予算執行率	99.9%			トータルコスト(A+B)	199,441	137,885	216,189	106,463			78,304	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		鏡野町が除雪する道路の除雪費であり、今後も継続して実施する必要がある。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	除雪車整備事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06776	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	○老朽化した除雪機械の更新及び新規導入を行う事業	
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	○更新・増強の要望→申請手続き→設計・仕様書の作成(市場価格の調査) → 入札・契約→変更申請手続き→中間・納入検査→納車→支払い・完了実績報告	除雪機械の経年の老朽化に伴い、出力低下等の原因で作業遅延が発生することがないよう、老朽化の除雪機械の更新・増強を実施する。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 除雪機械	ア 除雪機械購入台数	台	見込	3	5	3	3
			実績	0	1	2	
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 除雪作業の効率化、安全性の向上	ア 降雪による不定期な通行止め数	回	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	
			達成率	—	—	—	—
イ	イ		目標				
			実績				
			達成率				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 入札・契約・検査・支払い	ア 支払い回数	回	目標	3	5	3	3
			実績	0	1	2	
			達成率	0.0%	20.0%	66.7%	—
イ	イ		目標				
			実績				
			達成率				

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる					
イ 町内の国・県道	イ						
ウ	ウ						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路維持費	03	05	除雪車整備事業費				除雪車整備事業費				06776
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債		71,300	49,400	33,000		-21,900	町 債		56,000	47,100	33,000			-8,900	
その他特財							その他特財								
一般財源		4,370	2,600	80		-1,770	一般財源		1,200	563	80			-637	
合計		75,670	52,000	33,080	0	-23,670	合計(A)	57,200	47,663	33,080	0			-9,537	
財源名称	辺地対策事業債					従事正職員人数	2	2	2	2					
	緊急自然災害防止対策事業債					延べ業務事務時間	50	50	50	50					
						人件費計(千円)(B)	168	167	172	172	0			5	
	最終予算額	52,000 千円	予算執行率	91.6%	トータルコスト(A+B)	168	57,367	47,835	33,252					-9,532	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			耐用年数を経過した除雪機械について、更新する購入経費であり、今後も耐用年数の経過状況を参考に定期的に更新する必要がある。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	除雪車整備事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06776	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	(令和5年度→令和6年度に継続) ○老朽化した除雪機械の更新及び新規導入を行う事業	
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	○更新・増強の要望→申請手続き→設計・仕様書の作成(市場価格の調査) → 入札・契約→変更申請手続き→中間・納入検査→納車→支払い・完了実績報告	除雪機械の経年の老朽化に伴い、出力低下等の原因で作業遅延が発生することがないよう、老朽化の除雪機械の更新・増強を実施する。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 除雪機械	ア 除雪機械購入台数	台	見込			2	
イ			実績			2	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 除雪作業の効率化、安全性の向上	ア 降雪による不定期な通行止め数	回	目標			0	
イ			実績			0	
			達成率			—	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 入札・契約・検査・支払い	ア 支払い回数	回	目標			2	
イ			実績			2	
			達成率			100.0%	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図				
ア	町道	ア	快適で安全な通行ができる				
イ	町内の国・県道	イ					
ウ		ウ					
エ		エ					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路維持費	03	05	除雪車整備事業費				除雪車整備事業費				06776
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債		71,300	14,500			-56,800	町 債		56,000	14,400					-41,600
その他特財							その他特財								
一般財源		4,370	700			-3,670	一般財源		1,200	659					-541
合計		75,670	15,200		0	-60,470	合計(A)		57,200	15,059		0	0		-42,141
財源名称	辺地対策事業債					従事正職員人数	2	2	2						
	緊急自然災害防止対策事業債					延べ業務事務時間	50	50	50						
						人件費計(千円)(B)	168	167	172	0	0			5	
	最終予算額	15,200 千円	予算執行率	99.0%	トータルコスト(A+B)	168	57,367	15,231							-42,136

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		社会情勢により半導体などの部品調達に時間を要したため、納入が令和6年度となった。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	社会資本統合整備交付金事業	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06780	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	毎年12月1日から3月31日の4ヶ月間を除雪作業期間と定め、鏡野町内の雪寒指定路線の町道の道路除雪業務を全て委託業務により実施する。	鏡野町内では冬期間において降雪があり、除雪により安全な交通網の確保が必要であるため。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 雪寒指定路線延長	km	見込	113	113	113	113
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	イ	実績	113	113	113		
		見込					
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 通行不能件数	件	目標	0	0	0	0
④対象指標	イ	実績	0	0	0		
		達成率	—	—	—	—	—
⑥活動指標	⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 除雪日数	日	目標	50	50	80	50
⑧施策の対象	イ	実績	99	88	125		
		達成率	198.0%	176.0%	156.3%	—	—

↓

⑧施策の対象		属する施策の意図	
ア	町道	ア	快適で安全な通行ができる
イ	町内の国・県道	イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名			事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路維持費	03	06	社会資本統合整備交付金事業					06780		
予算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金	834	2,131	6,600	6,000		4,469	国庫支出金	834	1,157	6,600	6,000		5,443	
県支出金							県支出金							
町 債							町 債							
その他特財							その他特財							
一般財源	466	1,069	3,300	3,000		2,231	一般財源	441	2,028	3,300	3,000		1,272	
合計	1,300	3,200	9,900	9,000	0	6,700	合計(A)	1,275	3,185	9,900	9,000	0	6,715	
財源名称	社会資本統合整備交付金					従事正職員人数	1	1	1	1				
						延べ業務事務時間	50	50	50	50				
						人件費計(千円)(B)	168	167	172	172	0	5		
	最終予算額	9,900 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)	1,443	3,352	10,072	9,172		6,720		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地				鏡野町が除雪する道路の除雪費であり、今後も継続して実施する必要がある。	
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	道路河川愛護費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06785	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	鏡野町道路愛護会規程(平成17年3月1日告示第49号)		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	道路愛護を目的とし、各地区で愛護会を組織する。 ①毎年春秋2期に補修(道づくり) ②地区内にある里道の補修 ③道路愛護思想の普及 (年度～ 年度) ④道路の災害箇所等を町に報告する ⑤道路損傷行為などの通報	平成17年の町村合併を期に、町全体で道路・河川愛護活動を啓蒙し、地区単位で美化・補修に努め、住みよい環境を整備する目的で開始。地域の要望により令和元年度から補助金額を1戸あたり500円→1000円に増額している。
□ 期間限定複数年度		
□ 単年度のみ	上記作業について実績報告のあった愛護会に対し予算の範囲内で報奨金を	

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 全自治会内の町道	ア 町道総延長	km	見込	460	460	460	460
			実績	460	460	460	
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町内全ての自治会の参加	ア 事業実施地区数	地区	目標	94	94	94	94
			実績	94	94	94	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
イ 町道の適切な管理	イ 事業に参加した戸数	戸	目標	4,500	4,500	4,500	4,500
			実績	4,425	4,377	4,358	
			達成率	98.3%	97.3%	96.8%	-
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 受付・支払い	ア 受付・支払回数	回	目標	188	188	188	188
			実績	188	188	188	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-
イ	イ		目標				
			実績				
			達成率				

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる					
イ 町内の国・県道	イ						
ウ	ウ						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路維持費	04	01	道路河川愛護費				06785				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債								町 債							
その他特財								その他特財							
一般財源	4,500	5,307	5,288	5,430			-19	一般財源	4,425	5,307	5,288	5,430			-19
合計	4,500	5,307	5,288	5,430	0	-19	合計(A)	4,425	5,307	5,288	5,430	0	-19		
財源名称						従事正職員人数		1	1	1	1				
						延べ業務事務時間		30	30	30	30				
						人件費計(千円)(B)		101	100	103	103	0	3		
	最終予算額	5,288 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)		4,526	5,407	5,391	5,533		-16		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等							
適切である		目標水準に達している		令和5年度から戸数による補助に加えて地区経費として一律10,000円を支給した。地区住民による道路河川の美化・補修を目的としているため、継続して事業を行う必要がある。							
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地									
改善余地がない		公平・公正である									

事業番号	事務事業名	単独改良事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06800	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	道路は町民の生活を支える基盤であり、安全で快適な暮らしを確保するため、道路管理者のパトロールや地区要望等により危険箇所を把握し、緊急性・必要性の高い箇所より道路整備を図る。	高度成長時代の車社会到来に伴う次期から、自動車の通行可能な道路及び大型車の通行可能な幹線道路が必要とされ、補助対象とならない箇所の整備を単独町費で整備している。
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	令和5年度 単独改良工事 2路線 事務概要等 ①設計 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査	
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道	→	ア 路線数	路線	見込	833	833	833	833
	→	イ 総延長	km	実績	833	833	833	833
		イ 総延長	km	見込	466	466	466	466
		イ 総延長	km	実績	466	466	466	466
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	→	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じる町民の割合	%	目標	62	62	62	62
	→	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じる町民の割合	%	実績	62	61	61	61
		ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じる町民の割合	%	達成率	100.2%	98.5%	98.2%	—
		イ		目標				
		イ		実績				
		イ		達成率				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 改良工事	→	ア 改良工事件数	件	目標	4	4	3	4
	→	ア 改良工事件数	件	実績	6	2	1	—
		ア 改良工事件数	件	達成率	150.0%	50.0%	33.3%	—
イ 施工管理	→	イ 施工管理回数	回	目標	20	20	15	20
	→	イ 施工管理回数	回	実績	30	10	5	—
		イ 施工管理回数	回	達成率	150.0%	50.0%	33.3%	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図				
ア 町道			ア 快適で安全な通行ができる				
イ 町内の国・県道			イ				
ウ			ウ				
エ			エ				

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	03	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路新設改良費	03	01					単独改良事業費				06800
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債	3,500							町 債	3,500						
その他特財								その他特財							
一般財源	23,006	4,224	12,826	10,130		8,602	一般財源	19,802	2,893	12,826	10,130				9,933
合計	26,506	4,224	12,826	10,130	0	8,602	合計(A)	23,302	2,893	12,826	10,130	0	9,933		
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債					従事正職員人数		3	2	1	3		-1		
						延べ業務事務時間		180	90	45	120		-45		
						人件費計(千円)(B)		605	300	155	412	0	-146		
	最終予算額 12,826 千円			予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		23,907	3,193	12,981	10,542		9,787		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地						本事業での町道改良により、通行環境は以前により大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができる。		
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	町道単独舗装事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06837	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	道路は町民の生活を支える基盤であり、安全で快適な暮らしを確保するため、道路管理者のパトロールや地区要望等により危険箇所を把握し、緊急性・必要性の高い箇所より道路整備を図る。	高度成長時代の車社会到来に伴う時期から、自動車の通行可能な道路及び大型車の通行可能な幹線道路が必要とされ、補助対象とならない箇所の整備を単独町費で整備している。
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	令和5年度 単独舗装工事 2路線 事務概要等 ①設計 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査	
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道	ア 路線数	路線	見込	833	833	833	833
			実績	833	833	833	833
イ	イ 総延長	km	見込	466	466	466	466
			実績	466	466	466	466
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じる町民の割合	%	目標	62	62	62	62
			実績	62	61	61	61
			達成率	100.2%	98.5%	98.2%	—
イ	イ		目標				
			実績				
			達成率				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 舗装工事	ア 舗装工事件数	件	目標	15	6	4	5
			実績	16	7	12	—
			達成率	106.7%	116.7%	300.0%	—
イ 施工管理	イ 施工管理回数	回	目標	75	30	20	25
			実績	80	35	60	—
			達成率	106.7%	116.7%	300.0%	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる					
イ 町内の国・県道	イ						
ウ	ウ						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	03	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路新設改良費	12	01	町道単独舗装事業費				06837				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債	6,000							町 債	6,000						
その他特財								その他特財							
一般財源	9,500	11,628	11,814	21,180		186	一般財源	8,896	9,849	11,813	21,180			1,964	
合計	15,500	11,628	11,814	21,180	0	186	合計(A)	14,896	9,849	11,813	21,180	0	1,964		
財源名称	過疎対策事業債					従事正職員人数		3	3	3	3				
						延べ業務事務時間		220	100	180	70		80		
						人件費計(千円)(B)		740	334	618	240	0	285		
	最終予算額	11,814 千円	予算執行率	99.9%	トータルコスト(A+B)	15,636	10,183	12,431	21,420		2,249				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			本事業での町道の舗装修繕により、通行環境は以前より大いに改善し、快適な道路網の整備に繋げることができる。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	町道富東谷線改良事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06852	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	側溝・路肩・舗装修繕を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=77m W=5.0m	本路線は県道湯原奥津線と富東谷地区を繋ぐ住民の生活道路のひとつである。 近年の豪雨等により路肩崩壊や浸水被害が発生する可能性が非常に高い状態であるため、側溝修繕・路肩修繕・舗装修繕等の緊急的な対策が必要となってくる。
☑ 期間限定複数年度 (5 年度～ 7 年度)	1年目 测量設計 2年目 用地補償・路肩修繕 3年目 側溝修繕・舗装修繕	
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道富東谷線	ア 改良延長	m	見込	77	77	77	
			実績	77	77		
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じる町民の割合	%	目標	62	62	62	
			実績	61	61		
			達成率	98.5%	98.2%	-	-
イ	イ		目標				
			実績				
			達成率				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標	30	50	50	
			実績	30	50		
			達成率	100.0%	100.0%	-	-
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	目標	0	50	50	
			実績	0	50		
			達成率	-	100.0%	-	-

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる					
イ 町内の国・県道	イ						
ウ	ウ						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	03	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路新設改良費	19	01	町道富東谷線改良事業費					06852			
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債		3,400	12,200	18,400		8,800		町 債		3,400	12,200	18,400		8,800	
その他特財								その他特財							
一般財源		1,300	375				-925	一般財源		98	374			276	
合計		4,700	12,575	18,400		7,875		合計(A)		3,498	12,574	18,400		9,076	
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債					従事正職員人数			1	1	1				
						延べ業務事務時間			60	60	60				
						人件費計(千円)(B)			200	206	206		6		
	最終予算額 12,575 千円		予算執行率 99.9%		トータルコスト(A+B)				3,698	12,780	18,606		9,082		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		本事業での改良工事により路肩崩壊、浸水被害の抑止を図ることができている。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	町道中林線改良事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06863	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	法面改良・路肩舗装修繕を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=36. 6m W=5. 0m	
☑ 期間限定複数年度 (5 年度～ 6 年度)	1年目 測量設計 2年目 用地補償・法面改良	本路線は県道加茂奥津線と大町地区を繋ぐ住民の生活道路のひとつである。 近年の豪雨等により法面からの落石が発生しており、法面改良等の緊急的な対策が必要となっている。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道中林線	ア 改良延長	m	見込		37	37	
イ	イ		実績		37	37	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じる町民の割合	%	目標		62	62	
イ	イ		実績		61	61	
			達成率		98.5%	98.2%	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標		5	5	
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	実績		5	5	
			達成率		100.0%	100.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図				
ア 町道			ア 快適で安全な通行ができる				
イ 町内の国・県道			イ				
ウ			ウ				
エ			エ				

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	03	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	道路新設改良費	19	03	町道中林線改良事業費				06863				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債		5,700	17,700			12,000	町 債		5,700	17,700					12,000
その他特財							その他特財								
一般財源		750	40			-710	一般財源		282	40					-242
合計		6,450	17,740		0	11,290	合計(A)	0	5,982	17,740	0	0			11,758
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債					従事正職員人数		1	1						
						延べ業務事務時間		30	30						
						人件費計(千円)(B)		100	103	0	0				3
	最終予算額	17,740 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)			6,082	17,843						11,761

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		完成により安全な通行が確保された。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	補助橋梁整備事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06885	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	本事業は、町道橋における長寿命化計画の策定業務の実施と、同計画に基づき橋梁441橋を5年に1回の頻度で橋梁点検を行う。	平成26年に道路法施行規則の一部を改正する省令等に伴い、橋梁の健全性の診断を行うことになった。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 道路利用者・町民	ア 人口(住民基本台帳)	人	見込	11,800	11,627	11,455	11,280
		人	実績	12,358	12,116	11,855	
イ 町道橋	イ 橋梁数	橋	見込	441	441	441	441
		橋	実績	441	441	441	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者と町民が安全安心に通行できる道路整備を行う	ア 町内の道路が快適・安全に運行できると感じる町民の割合	%	目標	61.7	61.8	61.9	62.0
		%	実績	61.8	60.9	60.8	
		%	達成率	100.2%	98.5%	98.2%	—
イ 町道を快適で安全に通行できる	イ 修繕橋梁数	橋	目標	3	4	1	6
		橋	実績	3	4	1	
		橋	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 橋梁点検	ア 橋梁点検数	橋	目標	69	99	74	92
		橋	実績	69	99	74	
		橋	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—
イ 業務管理	イ 業務管理回数	回	目標	5	5	5	5
		回	実績	5	5	5	
		回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—
ウ 地元調整	ウ 地元調整回数	回	目標	5	5	5	5
		回	実績	5	5	5	
		回	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図		
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる			
イ 町内の国・県道	イ				
ウ	ウ				
エ	エ				

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	04	大事業	中事業	予算上の事業名			事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	橋梁維持費	03	02	補助橋梁整備事業費					06885		
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金	19,904	11,495	3,152	10,378		-8,343	国庫支出金	18,111	6,929	3,152	10,378		-3,777	
県支出金							県支出金							
町 債	5,000						町 債	5,000						
その他特財							その他特財							
一般財源	28,046	8,205	14,375	13,132		6,170	一般財源	27,302	10,655	12,908	13,132		2,253	
合計	52,950	19,700	17,527	23,510	0	-2,173	合計(A)	50,413	17,584	16,060	23,510	0	-1,524	
財源名称	道路メンテナンス補助金					従事正職員人数	2	2	2	1				
						延べ業務事務時間	50	50	80	80				30
						人件費計(千円)(B)	168	167	275	275				108
	最終予算額 17,527 千円					トータルコスト(A+B)	50,581	17,751	16,335	23,785				-1,416

事業番号	06885	事務事業名	補助橋梁整備事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	-----------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

橋梁の老朽化に伴い、車両等の通行において危険度が増しており、通行に支障が出る恐れがある。

② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯

現場に適した工法、経済性の検討を行い実施している。

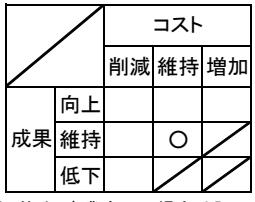
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?

橋梁の長寿命化が図られることで、安全な車両等の通行が期待される。

5. 事業評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明	利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある			理由説明 橋梁の毀損・瑕疵は、重大事故につながる危険性があり、利用者の安全確保の観点から橋梁の点検は重要である。
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である			
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある			理由説明 橋梁を修繕することで安全な通行が確保される。
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
有効性評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由説明	点検に伴う新技術の活用に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している		
⑤廃止・休止の影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)			
<input type="checkbox"/> 影響がない			理由説明 町道橋の利用者が安全に通行できない状態となる。
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある			
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある			理由説明 改善の余地は無い。
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない			
効率性評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由説明	削減の余地は無い。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある			理由説明 削減の余地は無い。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体ではなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明	町道橋を利用する町民が公平に安全な通行が可能となる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠
A 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	
B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	点検結果を基に橋梁長寿命化計画を更新し、橋梁修繕計画、ライフサイクルコスト等の検討を行う。
C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	
D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	
③今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	④担当課としての事業の方針
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 橋梁長寿命化計画を策定し、計画に沿って定期的に点検及び補修を実施しており、改善余地はない。
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題	 架設後、50年を経過した橋梁が多く見られ、経年劣化による修繕箇所の増加が予想される。 (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)

事業番号	事務事業名	単独橋梁整備事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06894	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	橋梁点検を行った結果、補修する必要があると判断された橋梁について町単独事業により補修を行う。	平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、修繕事業を実施
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標			単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア	橋梁数	橋	見込		441	441	441	442
	イ		橋	実績		441	441	441	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)			単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア	直営点検を行う	橋	目標		2	9	5	8
	イ		橋	実績		2	9	5	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標			単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア	修繕工事を発注・施工管理	橋	目標		1	1		1
	イ		橋	実績		1	1		

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)									
属する施策の対象					属する施策の意図				
ア 町道					ア 快適で安全な通行ができる				
イ 町内の国・県道					イ				
ウ					ウ				
エ					エ				

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	04	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	橋梁維持費	03	03	単独橋梁整備事業費				06894				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債	7,900							町 債	7,900						
その他特財								その他特財							
一般財源	22,511	7,373		1,920			-7,373	一般財源	1,017	429		1,920			-429
合計	30,411	7,373		1,920			-7,373	合計(A)	8,917	429		1,920			-429
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債					従事正職員人数		1	1	1	1				
						延べ業務事務時間		10	10	10	10				
						人件費計(千円)(B)		34	33	34	34				1
	最終予算額	0 千円	予算執行率			トータルコスト(A+B)		8,951	462	34	1,954				-428

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等											
適切である		目標水準に達している		直営点検により橋梁の状態を把握し健全であったことを確認した。											
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地													
改善余地がない		公平・公正である													

事業番号	事務事業名	真開橋橋梁改修事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06933	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	橋梁の長寿命化を道路メンテナンス事業、過疎対策事業で行う事業。 L=84m W=10.0m	
☑ 期間限定複数年度 (5 年度～ 10 年度)	1年目 調査業務 2年目 設計業務 3～6年目 修繕工事	鏡野町では平成21年度から橋梁長寿命化計画を策定し、調査を行っている。その調査の結果、町道沢田原線真開橋が緊急的に補修する必要があると判断されたことにより、長寿命化のために修繕工事が急務となつた。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込	6,400	6,400	6,400	
			実績	6,400	6,400		
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者に安全な道づくり	ア 不具合・トラブル・要望件数	件	目標	0	0	0	
			実績	0	12		
イ	イ		達成率	—	—	—	
			目標				
			実績				
			達成率				
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標	30	30	60	
			実績	30	30		
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	日	達成率	100.0%	100.0%	—	
			目標	0	0	60	
			実績	0	0		
			達成率	—	—	—	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる					
イ 町内の国・県道	イ						
ウ	ウ						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	04	大事業	中事業	予算上の事業名			事業番号
	一般会計	土木費	道路橋梁費	橋梁維持費	03	12	真開橋橋梁改修事業費					06933		
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金		8,684	20,227	27,750		11,543	国庫支出金		8,684	20,227	27,750		11,543	
県支出金							県支出金							
町 債			11,000	17,500		11,000	町 債			11,000	17,500		11,000	
その他特財							その他特財							
一般財源		5,468	13,351	1,980		7,883	一般財源		5,440	7,317	1,980		1,877	
合計		14,152	44,578	47,230		30,426	合計(A)		14,124	38,544	47,230		24,420	
財源名称	道路メンテナンス事業						従事正職員人数		1	1	1			
	過疎対策事業債						延べ業務事務時間		60	60	60			
							人件費計(千円)(B)		200	206	206		6	
	最終予算額	44,578 千円	予算執行率	86.4%			トータルコスト(A+B)		14,324	38,750	47,436		24,426	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		経済性等を考慮し、現地に適した工法を選定できており、修繕工事により町民の安全な通行の確保が期待できる。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	町道竹田古川線改良事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
13021	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	48 道路網の整備	根拠法令等	道路法・道路構造令		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	・町道改良を過疎対策事業で行う事業。	本路線は、竹田と寺元を繋ぐ生活道路で、車両同士がやつすれ違いが出来る程度の幅員の道路である。また、令和10年度開院予定で鏡野町国民健康保険病院の移築事業を実施していることから、今まで以上の車の往来が想定される。この事から、拡幅整備することで周辺住民及び病院利用者にとって安全で快適に利用できる道路を早急に整備する必要がある。
☑ 期間限定複数年度 (6 年度～ 7 年度)	L=113m W=5. 0m 2年計画の 1年目：測量設計、用地買収 2年目：道路改良工事	
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 町道を利用する車輛、歩行者	ア 推計通行車両台数(一日平均)	台	見込			100	100
		実績				100	
イ	イ 町道竹田古川線総延長	m	見込			113	113
		実績				113	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 利用者に安全な道づくり	ア 改良・舗装延長(単年度)	m	目標			113.0	113.0
		実績				113	
		達成率				100.0%	—
イ	イ 不具合・トラブル	件	目標			0	0
		実績				0	
		達成率				—	—
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	件	目標			50	100
		実績				50	
		達成率				100.0%	—
イ 地元協議(用地・補償関係)	イ 用地買収件数	件	目標			4	0
		実績				4	
		達成率				100.0%	—
ウ	ウ	件	目標			—	—
		実績				—	
		達成率				—	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図		
ア 町道	ア	快適で安全な通行ができる			
イ 町内の国・県道	イ				
ウ	ウ				
エ	エ				

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	02	目	03	大事業	中事業	予算上の事業名			事業番号
	一般会計		土木費		道路橋梁費		道路新設改良費	06	01		町道竹田古川線改良事業費			13021
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町 債			4,800	14,700		4,800	町 債			4,800	14,700			4,800
その他特財							その他特財							
一般財源			2,977	1,640		2,977	一般財源			906	1,640			906
合計	9	9	7,777	16,340	0	7,777	合計(A)	9	9	5,706	16,340	0	5,706	
財源名称	過疎対策事業費					従事正職員人数				1	1			1
						延べ業務事務時間				60	120			60
						人件費計(千円)(B)				206	412			206
	最終予算額 7,777 千円			予算執行率	73.3%	トータルコスト(A+B)				5,912	16,752			5,912

1枚目

事業番号	13021	事務事業名	町道竹田古川線改良事業費	所管課名	建設課
------	-------	-------	--------------	------	-----

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

道路改良については、交差点改良や歩道設置に加え、道路拡幅の要望が多くなっている。

② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯

当該現場に適した工法、経済性等の検討を行い実施している。

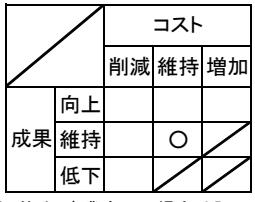
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?

現在に至るまで、危険及び不便を抱えていた利用者が、改良事業により改善できる事を大いに期待しているとの意見が多数寄せられている。

5. 事業評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明	利用者の安全な通行が確保され、町民の快適な生活に繋がる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている		
②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある			理由説明 町道であり、公共性があるため妥当である。
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である			
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある			理由説明 道路改良することで安全な通行が確保される。
<input checked="" type="checkbox"/> 適切である			
有効性評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由説明	特に無し。
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している		
⑤廃止・休止の影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)			
<input type="checkbox"/> 影響がない			理由説明 町道の利用者が安全な通行ができない状態となる。
<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある			
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある			理由説明 改善の余地はない。
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない			
効率性評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由説明	削減の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある			理由説明 削減の余地はない。
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体ではなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由説明	町道を利用する町民が公平に安全な通行が可能である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果	②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠
A 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	
B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	本事業での道路改良により、通行環境は以前より改善し、快適な道路網の整備に繋げることができている。
C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	
D 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	
③今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	④担当課としての事業の方針
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 経済性等を考慮し、計画的に事業を進めることができているため改善の余地はない。
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題	 改善の余地なしの為、解決すべき課題はない。
	(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)

事業番号	事務事業名	小規模土地改良事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05228	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係		
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	国庫補助事業対象外の小規模なものについて、地元関係者からの要望により、農業基盤整備をおこなうもの。	
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	①要望のとりまとめ ②補助金申請 ③測量設計積算 ④発注監理 ⑤竣工検査 ⑥実績報告 ⑦地元分担金徴収 ⑧補助金請求	国庫補助事業対象外の小規模なものについて、農業基盤整備をおこない農業経営の安定を図るため。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 農地	ア 耕地面積	ha	見込	1,810	1,810	1,810	1,810
			実績	1,810	1,810	1,810	
イ 農家	イ 総農家数	戸	見込	1,400	1,400	1,400	1,400
			実績	1,418	1,418	1,418	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 農作物の効率化、維持軽減	ア 要望件数	件	目標	4	5	0	7
			実績	4	5	0	
			達成率	100.0%	100.0%	—	—
イ 農道橋梁点検	イ 橋梁修繕数	橋	目標	0	3	2	0
			実績	0	2	2	
			達成率	—	66.7%	100.0%	—
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 設計施工監理	ア 設計施工監理件数	件	目標	4	6	2	3
			実績	4	6	2	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—
イ 事務	イ 事務件数	件	目標	4	6	2	3
			実績	4	6	2	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町内の農業從事者	ア 農業を継続してもらう						
イ 農地	イ 農地の保全						
ウ	ウ 担い手の育成・確保						
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	05	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	農業費	農地費	03	01	小規模土地改良事業費				05228				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金	5,918	22,664	11,000	4,230		-11,664	県支出金	5,918	17,441	11,000	4,230		-6,441		
町 債			6,800			6,800	町 債			6,800			6,800		
その他特財	3,037	9,438		2,585		-9,438	その他特財	3,037	4,859		2,585		-4,859		
一般財源	10,370	13,930	3,969	9,846		-9,961	一般財源	9,673	15,530	3,969	9,846		-11,561		
合計	19,325	46,032	21,769	16,661	0	-24,263	合計(A)	18,628	37,830	21,769	16,661	0	-16,061		
財源名称	小規模土地改良事業費補助					従事正職員人数	1	1	2	2		1			
	過疎債					延べ業務事務時間	40	40	40	40					
	辺地債					人件費計(千円)(B)	134	133	137	137	0	4			
	最終予算額	21,769 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)	18,762	37,963	21,906	16,798		-16,057				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			地元要望を取りまとめ、緊急性や重要性等を考慮し、施設の改善を図った。農業生産の基盤である農業用施設の改修であり、今後も継続して実施する必要がある。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	農業用施設管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05241	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係		
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	・農業用施設利用者の団体(水利組合等)が、施設の構造・維持管理をおこなう上で、必要な原材料の支給及び簡易な修繕に対し重機借上料を支払うもの。	
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	①要望のとりまとめ ②審査 ③決定通知 ④実施 ⑤竣工検査 ⑥補助金支払い	農業用施設の維持管理を実施し、農業経営の安定を図るため。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	→ ⑥活動指標
ア 農地	ア 耕地面積 ha 見込 1,810 実績 1,810	ア 重機借上 要望件数 件 目標 49 実績 51 達成率 104.1%	ア 重機借上 件数 件 目標 51 実績 51 達成率 100.0%
イ 農家	イ 総農家数 戸 見込 1,400 実績 1,418	イ 原材料支給 要望件数 件 目標 52 実績 48 達成率 92.3%	イ 原材料支給 件数 件 目標 50 実績 33 達成率 66.0%
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)			
ア 農業用施設を適切に維持してもらおう	→ ④対象指標 ア 耕地面積 ha 見込 1,810 実績 1,810	→ ⑤成果指標(意図の達成度) ア 重機借上 要望件数 件 目標 49 実績 51 達成率 104.1%	→ ⑥活動指標 ア 重機借上 件数 件 目標 51 実績 51 達成率 100.0%
イ 農業用施設を適切に維持してもらおう	→ ④対象指標 イ 総農家数 戸 見込 1,400 実績 1,418	→ ⑤成果指標(意図の達成度) イ 原材料支給 要望件数 件 目標 52 実績 48 達成率 92.3%	→ ⑥活動指標 イ 原材料支給 件数 件 目標 50 実績 33 達成率 66.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)			
ア 重機借上	→ ④対象指標 ア 重機借上 要望件数 件 目標 49 実績 51 達成率 104.1%	→ ⑤成果指標(意図の達成度) ア 重機借上 要望件数 件 目標 52 実績 48 達成率 92.3%	→ ⑥活動指標 ア 重機借上 件数 件 目標 51 実績 51 達成率 100.0%
イ 原材料支給	→ ④対象指標 イ 総農家数 戸 見込 1,400 実績 1,418	→ ⑤成果指標(意図の達成度) イ 原材料支給 要望件数 件 目標 52 実績 48 達成率 92.3%	→ ⑥活動指標 イ 原材料支給 件数 件 目標 50 実績 33 達成率 66.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の農業従事者	ア	農業を継続してもらう
イ	農地	イ	農地の保全
ウ		ウ	担い手の育成・確保
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	05	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	農業費	農地費	09	01	農業用施設管理費				農業用施設管理費				05241
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財	90						その他特財	90							
一般財源	10,012	7,691	6,243	10,316		-1,448	一般財源	9,523	7,681	6,085	10,316		-1,596		
合計	10,102	7,691	6,243	10,316	0	-1,448	合計(A)	9,613	7,681	6,085	10,316	0	-1,596		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	30	30	30	30				
							人件費計(千円)(B)	101	100	103	103	0	3		
	最終予算額	6,243 千円	予算執行率	97.4%	トータルコスト(A+B)		9,714	7,781	6,188	10,419		-1,593			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			要望箇所について適切な処理を行い事業を進めることができた。農業経営の安定のため今後も続けていく必要がある。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	香々美ダム経常管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05301	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名			
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	岡山県から管理委譲を受けた香々美ダムの維持管理をおこなうもの。 ①補助金申請 ②維持管理 ③竣工検査 ④実績報告 ⑤補助金請求	洪水被害の防止及び農業用水の確保を目的とした香々美ダムは、昭和48年度に完成したのち、昭和50年4月1日から岡山県より管理委譲を受け維持管理を行っている。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 香々美ダム	ア 総貯水量	m3	見込	1,853	1,853	1,853	1,853
			実績	1,853	1,853	1,853	
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 洪水被害の防止	ア 防災受益面積	ha	目標	447	447	447	447
			実績	447	447	447	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
イ 農業用水の確保	イ 農業用水確保可能な受益面積	ha	目標	675	675	675	675
			実績	675	675	675	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 水防体制	ア 水防体制件数	件	目標	10	10	10	10
			実績	14	19	14	
			達成率	140.0%	190.0%	140.0%	
イ 事務	イ 事務件数	件	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町内の農業従事者	ア	農業を継続してもらう					
イ 農地	イ	農地の保全					
ウ	ウ	担い手の育成・確保					
エ	エ						

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	06	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	農業費	農業施設費	01	13	香々美ダム経常管理費				香々美ダム経常管理費				05301
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金	13,728	12,819	11,892	12,243		-927	県支出金	13,730	12,819	11,184	12,243			-1,635	
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源	6,637	4,419	4,515	5,483		96	一般財源	5,255	4,151	5,074	5,483			923	
合計	20,365	17,238	16,407	17,726	0	-831	合計(A)	18,985	16,970	16,258	17,726	0		-712	
財源名称	基幹の農業水利施設適正管理事業費補助						従事正職員人数	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	300	300	300	300				
							人件費計(千円)(B)	1,009	1,001	1,031	1,031	0	30		
	最終予算額	16,407 千円	予算執行率	99.0%	トータルコスト(A+B)		19,994	17,971	17,289	18,757				-682	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		完成から50年程度経過しているが、機器の更新やメンテナンスを行い適切な維持管理ができている。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	香々美ダム臨時管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05328	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名			
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
☑ 期間限定複数年度 (5 年度～ 6 年度)	香々美ダム堆砂処分場測量 警報車の更新	堆砂量が年々増加しているため、何時でも適切な貯水量確保が行えるよう処分場の確保・計画を行うため。 警報車も配備後のかなりの経過年数が経ち、整備費高騰や整備部品等の調達も困難になってしまったため。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 香々美ダム	ア 総貯水量	m ³	見込	1,853	1,853	1,853	1,853
			実績	1,853	1,853	1,853	
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 洪水被害の防止	ア 防災受面面積	ha	目標	447	447	447	447
			実績	447	447	447	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
イ 農業用水の確保	イ 農業用水確保可能な受益面積	ha	目標	675	675	675	675
			実績	675	675	675	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 水防体制	ア 済棒体制件数	件	目標	10	10	10	10
			実績	14	19	14	
			達成率	140.0%	190.0%	140.0%	
イ 事務	イ 事務件数	件	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町内の農業従事者				ア 農業を継続してもらう			
イ 農地				イ 農地の保全			
ウ				ウ 担い手の育成・確保			
エ				エ			

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	06	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	農業費	農業施設費	01	14	香々美ダム臨時管理費				05328				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金		1,166				-1,166	県支出金		1,166						-1,166
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源		2,913	2,973			60	一般財源		2,873	2,973					100
合計	4,079	2,973		0	-1,106	合計(A)	0	4,039	2,973	0	0	-1,066			
財源名称	基本的農業水利施設適正管理事業費補助					従事正職員人数		1	1						
						延べ業務事務時間		30	30						
						人件費計(千円)(B)		100	103	0	0	3			
	最終予算額	2,973 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)			4,139	3,076			-1,063			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地	成果の向上余地	全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等
適切である	目標水準に達している	
方法・手段の改善余地	受益機会・費用負担の適正化余地	香々美ダムに堆積した土砂撤去の処分場の詳細設計を行った。
改善余地がない	公平・公正である	

事業番号	事務事業名	小公園経常管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05335	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係		
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	土地改良総合整備事業で整備した、農村公園・ため池公園の維持管理による委託料を施設管理者に支払うもの。	
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	①極楽寺池公園(100千円) ②大峪池公園(50千円)	土地改良総合整備事業の特認事業として農村生活環境の改善により、土地改良施設以外の公園整備として設置したため。(平成15年度より地元委託)
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 小公園	ア 小公園数	箇所	見込	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2	
イ 管理団体	イ 団体数	団体	見込	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 適正な維持管理を行う	ア 清掃・修繕等の件数	件	目標	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2	
イ	イ	目標					
		実績					
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	-	-
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 事務	ア 事務件数	件	目標	2	2	2	2
		実績	2	2	2	2	
イ 修繕工事	イ 修繕件数	件	目標	1	1	1	1
		実績	0	0	0	0	
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	-	-

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図				
ア	町内の農業従事者	ア	農業を継続してもらう				
イ	農地	イ	農地の保全				
ウ		ウ	担い手の育成・確保				
エ		エ					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	06	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	農業費	農業施設費	01	17	小公園経常管理費				05335				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財	3						その他特財	3							
一般財源	147	150	150	1,350			一般財源	147	150	150	1,350				
合計	150	150	150	1,350	0	0	合計(A)	150	150	150	1,350	0	0	0	0
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	8	8	8	8				
							人件費計(千円)(B)	27	27	27	27	0	0	1	1
	最終予算額	150 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)		177	177	177	177	1,377				

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		平成15年度より継続して実施している本事業により、小公園の景観の保持、環境の整備が促進されている。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	農村地域防災減災事業	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05289	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名			
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
☑ 期間限定複数年度 (31 年度～ 9 年度)	土地改良区及び水利組合からの要望により、自然災害を未然に防ぎ、地域住民の防災力向上を図るもの。 ①要望とりまとめ ②補助金申請 ③測量設計積算 ④工事発注 ⑤竣工検査 ⑥実績報告 ⑦補助金請求	平成10年台風10号豪雨災害及び平成30年7月豪雨災害により、農地・農業用施設が洪水被害を受けた経緯から、防災力の向上・安定を図るため。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 農地	ア 耕地面積	ha	見込	1,810	1,810	1,810	1,810
			実績	1,810	1,810	1,810	
イ 農家	イ 総農家数	戸	見込	1,400	1,400	1,400	1,400
			実績	1,418	1,418	1,418	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 危険なため池の廃止、改修	ア ため池数(廃止、改修)	箇所	目標	2	2	1	1
			実績	2	2	1	
イ 危険な頭首工の改修	イ 頭首工数	箇所	目標	1	2	1	1
			実績	1	2	1	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 地元調整	ア 調整回数(協議等)	回	目標	6	6	3	3
			実績	6	6	3	
イ 地元調整	イ 調整回数(協議等)	回	目標	3	6	3	3
			実績	3	6	3	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア 町内の農業従事者				ア 農業を継続してもらう			
イ 農地				イ 農地の保全			
ウ				ウ 担い手の育成・確保			
エ				エ			

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	05	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	農業費	農地費	24	01	農村地域防災減災事業					農村地域防災減災事業			
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金	39,191	8,500					-8,500	国庫支出金	16,465	8,500					-8,500
県支出金								県支出金							
町 債								町 債							
その他特財	685	734	370	2,247			-364	その他特財	685	734	334	2,247			-400
一般財源	27,830	29,466	11,134	43,853			-18,332	一般財源	23,738	17,730	9,590	43,853			-8,140
合計	67,706	38,700	11,504	46,100	0	-27,196	合計(A)	40,888	26,964	9,924	46,100	0	-17,040		
財源名称	農業水路等長寿命化・防災減災事業費補助					従事正職員人数		1	1	1	1				
	地元分担金					延べ業務事務時間		50	50	60	60				10
						人件費計(千円)(B)		168	167	206	206	0	39		
	最終予算額	11,504 千円	予算執行率	86.2%	トータルコスト(A+B)		41,056	27,131	10,130	46,306		-17,001			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等							
適切である		目標水準に達している		関係機関と調整を行い、防災力向上に貢献することができた。							
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地									
改善余地がない		公平・公正である									

事業番号	事務事業名	国土調査経常管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05424	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	国土調査係		
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等	地方税法第381条第7項		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	国土調査の修正申出より修正を行う。	
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	手順としては、土地所有者又は権利者より国土調査の誤認と思われる協議を受け、法務局にて土地台帳、登記簿、公図及び当時の国土調査時の書類等を確認し、誤りであることを確認した後、法務局と協議・調整を図りながら修正登記を行う。	町内の国土調査は終わっているが誤差のある可能性がある土地の地図訂正、地籍更生を行っている。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	→ ⑥活動指標
ア 修正申出書	ア 相談件数 件 見込 実績 0	ア 修正件数 件 目標 1 実績 0 達成率 0.0%	ア 錯誤の確認調査 件 目標 1 実績 0 達成率 0.0%
イ	イ 見込 実績 2 1	イ 目標 2 実績 1 達成率 50.0%	イ 目標 1 実績 2 達成率 100.0%
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)			
ア 申出土地の正確な登記の回復	→ ④対象指標	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	→ ⑥活動指標
イ	ア 相談件数 件 見込 実績 0	ア 修正件数 件 目標 1 実績 2 達成率 200.0%	ア 錯誤の確認調査 件 目標 1 実績 2 達成率 200.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)			
ア 調査	→ ④対象指標	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	→ ⑥活動指標
イ 法局局協議	イ 見込 実績 1 1	イ 目標 1 実績 1 達成率 100.0%	イ 目標 1 実績 1 達成率 100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図		
ア	町内の農業従事者	ア	農業を継続してもらう		
イ	農地	イ	農地の保全		
ウ		ウ	担い手の育成・確保		
エ		エ			

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	01	目	07	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	農業費	国土調査費	01	01	国土調査経常管理費				05424				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源	450	540	410	300		-130	一般財源	105	535	110	300		-425		
合計	450	540	410	300	0	-130	合計(A)	105	535	110	300	0	-425		
財源名称							従事正職員人数	1	1	1	1				
							延べ業務事務時間	50	50	50	50				
							人件費計(千円)(B)	168	167	172	172		5		
最終予算額	410 千円	予算執行率	26.8%	トータルコスト(A+B)	273	702	282	472					-420		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		国土調査時の誤りも年間には数件発見されるが、相続等すべてが訂正できるとは限らないので、よく現地確認や書類調査を行い解決していかたい。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	普通河川水村川河川改修事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06967	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	41 防災対策の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	河川護岸修繕を緊急自然災害防止対策事業で行う事業。 L=106m	
☑ 期間限定複数年度 (5 年度～ 7 年度)	1年目 測量設計・用地補償 2年目 護岸修繕 3年目 護岸修繕	本河川は、過去にも豪雨等により護岸崩壊が発生しており、度々浸水被害が生じてきた。 近年の集中豪雨等により再び浸水被害が発生する可能性があることから、護岸修繕等の緊急的な対策が必要となっている。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 普通河川 水村川	ア 河川延長	ア 河川延長	m	見込	106	106	106	
イ	イ	イ		実績	106	106		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 河川護岸の早期修繕	ア 苦情、トラブル、要望数	ア 苦情、トラブル、要望数	件	目標	3	3	3	
イ 地区要望への対応	イ 対応率	イ 対応率	%	実績	3	3		
				達成率	100.0%	100.0%	-	-
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業者・地元との協議	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	ア 打合せ、協議回数(地元協議含む)	回	目標	3	3	3	
イ 工事監督	イ 現場での監督日数	イ 現場での監督日数	日	実績	3	3		
				達成率	100.0%	100.0%	-	-

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図		
ア 町内の住民・世帯	ア		イ	迅速的確に救助・救護される	
イ 自主防災組織	イ		ウ	災害から身体、生命及び財産を守る	
ウ	ウ		エ	自主防災意識を高める	
エ	エ				

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	03	目	03	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	河川費	河川維持費	01	02	普通河川水村川河川改修事業費				06967				
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債		3,300	6,600	8,000		3,300		町 債		3,300	6,600	8,000			3,300
その他特財								その他特財							
一般財源		5,900	275			-5,625	一般財源		4,800	275					-4,525
合計		9,200	6,875	8,000	0	-2,325	合計(A)		8,100	6,875	8,000	0			-1,225
財源名称	緊急自然災害防止対策事業債					従事正職員人数			1	1	1				
						延べ業務事務時間			30	30	30				
						人件費計(千円)(B)			100	103	103	0		3	
	最終予算額	6,875 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)			8,200	6,978	8,103	0			-1,222

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地								
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	河川維持補修費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
06957	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	土木係		
	施策名	41 防災対策の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	緊急性の高い箇所は、随意契約を行い早期発注に努めている。また、災害復旧事業と連携させた整備を進めている。	普通河川は、鏡野町の行政財産であり、適切に管理する義務がある。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標			単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア	延長	km	見込		131	131	131	
	イ		実績			131	131		
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)			単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア	苦情、トラブル、要望数	件	目標		2	2	2	
	イ		実績			2	2		
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標			単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア	パトロール回数	回	目標		4	4	4	
	イ		実績			4	4		
	イ	補修箇所数	箇所	達成率		100.0%	100.0%	100.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)									
属する施策の対象					属する施策の意図				
ア 町内の住民・世帯					ア 迅速的確に救助・救護される				
イ 自主防災組織					イ 災害から身体、生命及び財産を守る				
ウ					ウ 自主防災意識を高める				
エ					エ				

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	08	項	03	目	03	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	土木費	河川費	河川維持費	01	01	河川維持補修費				河川維持補修費				06957
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財							その他特財								
一般財源		10,156	4,713	14,190		-5,443	一般財源		9,249	4,713	14,190		-4,536		
合計		10,156	4,713	14,190	0	-5,443	合計(A)	0	9,249	4,713	14,190	0	-4,536		
財源名称						従事正職員人数		1	2	2			1		
						延べ業務事務時間		20	40	40			20		
						人件費計(千円)(B)	0	67	137	137	0	71			
	最終予算額	4,713 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)			9,316	4,850	14,327		-4,465			

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			浸水被害の軽減を図り、今後も継続する必要がある。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	泉山線開設事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05641	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係		
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	県営林道開設事業に係る地元調整、用地提供をおこなうもの。 業務 ①地元調整 ②立木の伐採 ③開設予定地の分筆 ④所有権移転登記 ⑤その他(泉山線進度率向上検討会)	平成10年度以前から、泉山周辺地域の森林施業を充実するため、広域的な林道整備として計画されたもの。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 林道泉山線	ア 利用区域面積	ha	見込	1,266	1,266	1,266	1,266
			実績	1,266	1,266	1,266	1,266
イ	イ		見込				
			実績				
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 森林施業の利用向上	ア 開設延長	m	目標	13,600	13,819	13,819	13,819
			実績	12,436	13,819	13,819	13,819
			達成率	91.4%	100.0%	100.0%	100.0%
イ 森林施業の利用向上	イ 舗装延長		目標			13,819	13,819
			実績			1,520	1,520
			達成率			11.0%	11.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 立木伐採	ア 立木伐採	回	目標	2	2	2	2
			実績	5	2	1	1
			達成率	250.0%	100.0%	50.0%	50.0%
イ 地元協議	イ 地元協議	回	目標	6	6	6	6
			実績	6	6	6	6
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図					
ア	町内の林業従事者		ア	担い手の確保と森林の保全				
イ	町内の森林面積		イ	優良材の生産				
ウ			ウ					
エ			エ					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	11	01	泉山線開設事業費					泉山線開設事業費			
予算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債								町 債							
その他特財								その他特財							
一般財源	5,904	3,645	1,530	3,745			-2,115	一般財源	5,887	3,642	1,530	3,745			-2,112
合計	5,904	3,645	1,530	3,745	0	-2,115	合計(A)	5,887	3,642	1,530	3,745	0	0	-2,112	
財源名称						従事正職員人数		1	1	1	1				
						延べ業務事務時間		100	80	30	30				-50
						人件費計(千円)(B)		336	267	103	103	0	0	-164	
	最終予算額	1,530 千円	予算執行率	100.0%		トータルコスト(A+B)		6,223	3,909	1,633	3,848			-2,276	

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等											
適切である			目標水準に達している			泉山周辺地域の森林施業の充実が確保された。											
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地														
改善余地がない			公平・公正である														

事業番号	事務事業名	治山林道管理費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05665	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係		
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し	補助対象とならない林道の小規模な修繕及び業務委託等のほか、地元団体への原材料支給、幹線林道の除草業務をおこなうもの。	
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	工事 ①測量設計積算 ②工事発注 ③施工管理 ④竣工検査 原材料支給・重機借上 ①要望とりまとめ ②審査 ③決定通知 ④実施 ⑤竣工検査 除草業務 ①設計積算 ②業務発注 ③業務管理 ④完了検査	林道の維持管理を実施し、林業経営の安定を図るため。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 管内の林道	ア 林道総路線数	路線	見込	129	129	129	129
			実績	129	129	129	
イ 地元団体	イ 団体数	団体	見込	129	129	129	129
			実績	129	129	129	
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 林道を安全に通行できるようにする	ア 業務委託・修繕工事 要望等件数	件	目標	10	21	10	10
			実績	10	21	10	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
イ	イ 重機借上・原材料支給 要望件数	件	目標	18	15	15	5
			実績	20	7	15	
			達成率	111.1%	46.7%	100.0%	
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	→ ⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
ア 業務・工事の発注・管理	ア 業務・工事を発注・施工管理	件	目標	30	21	10	10
			実績	30	21	10	
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	
イ 重機借上・原材料支給	イ 重機借上・原材料支給 件数	件	目標	18	15	15	5
			実績	20	7	15	
			達成率	111.1%	46.7%	100.0%	

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)							
属する施策の対象				属する施策の意図			
ア	町内の林業従事者	ア		ア	担い手の確保と森林の保全		
イ	町内の森林面積	イ		イ	優良材の生産		
ウ		ウ					
エ		エ					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	18	01					治山林道管理費				05665
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町 債							町 債								
その他特財			330	136		330	その他特財				326	136		326	
一般財源	42,296	30,120	37,115	34,168		6,995	一般財源	40,112	26,053	31,942	34,168			5,889	
合計	42,296	30,120	37,445	34,304	0	7,325	合計(A)	40,112	26,053	32,268	34,304	0	6,215		
財源名称						従事正職員人数		1	1	1	1				
						延べ業務事務時間		120	120	120	120				
						人件費計(千円)(B)		403	400	412	412	0	12		
	最終予算額	37,445 千円	予算執行率	86.1%		トータルコスト(A+B)		40,515	26,453	32,680	34,716		6,227		

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地			成果の向上余地			全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等					
適切である			目標水準に達している								
方法・手段の改善余地			受益機会・費用負担の適正化余地			林道の維持管理を行い、林業経営の安定が図れた。					
改善余地がない			公平・公正である								

事業番号	事務事業名	美作北線改良事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05713	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係		
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
☑ 期間限定複数年度 (4 年度～ 6 年度)	過疎対策事業債により林道改良を行う。 設計業務発注・作成(R6繰越明許)	森林基幹道である本路線は、一部部分拡幅による2車線化を完了させておりますが、未完了部分について、越畠地区より拡幅要望があつたもの。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	→ ④対象指標	→ ⑤成果指標(意図の達成度)	→ ⑥活動指標
ア 林道美作北線	ア 利用区域面積 ha 見込 5,194 実績 5,194	ア 改良延長 m 見込 20,287 実績 20,287	ア 設計審査 式 目標 1 実績 1 達成率 100.0%
イ	イ 林道延長 m 見込 20,287 実績 20,287	イ 目標 446 実績 446 達成率 100.0%	イ 目標 1 実績 1 達成率 100.0%
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)			
ア 工期通りに完成させる	ア 改良延長 m 目標 446 実績 446 達成率 100.0%	イ 目標 446 実績 446 達成率 100.0%	ア 設計審査 式 目標 1 実績 1 達成率 100.0%
イ			イ 目標 1 実績 1 達成率 100.0%
③活動(そのためにどんな活動をするのか)			
ア 設計審査	ア イ 地元調整	ア イ 地元調整	ア イ 地元調整

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象		属する施策の意図	
ア	町内の林業従事者	ア	担い手の確保と森林の保全
イ	町内の森林面積	イ	優良材の生産
ウ		ウ	
エ		エ	

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名				事業番号
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	24	08	美作北線改良事業費					美作北線改良事業費			
予算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込			前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金								国庫支出金							
県支出金								県支出金							
町 債	3,529	3,200	3,200					町 債	2,200			3,200			3,200
その他特財								その他特財							
一般財源		848	848					一般財源	704			848			848
合計	3,529	4,048	4,048	3	0	0	0	合計(A)	2,904	3	4,048	3	0	0	4,048
財源名称	過疎対策事業債(R6繰越明許)					従事正職員人数		1	1	1					
						延べ業務事務時間		50	50	50					
						人件費計(千円)(B)		168	167	172	0	0	0	5	
	最終予算額	4,048 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)			3,072	167	4,220					4,053

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		森林施業に欠かせない道路であり、要望に応じて適正に整備していく必要がある。			
改善余地がない		公平・公正である					

事業番号	事務事業名	粟倉木屋原線改良事業費	所管課名	建設課	令和 6 年度課長名	岩佐 誠己
05581	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農林土木係		
	施策名	22 林業の振興	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
□ 単年度繰返し		
□ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	林道粟倉木屋原線区画線工事を行うもの。 工事 ①区画線設置	本路線は全線2車線道路となっているが、経年により区画線が消失しており、安全な交通の確保が出来ていないため区画線工を行うもの。
□ 単年度のみ		

2. 事務事業の対象・意図・活動・施策との関係

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 林道粟倉木屋原線	見込				9,625	
イ	イ	実績				9,625	
		見込					
②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 改良延長	目標				6,006	
イ	イ	実績				6,006	
		達成率				100.0%	—
③活動(そのためにどんな活動をするのか)	⑥活動指標	単位	区分	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
	ア 施工管理	目標				1	
イ 補助事務	イ	実績				1	
		達成率				100.0%	—

↓

⑦結果(事務事業を何に結び付けるのか)

属する施策の対象			属する施策の意図					
ア	町内の林業従事者		ア	担い手の確保と森林の保全				
イ	町内の森林面積		イ	優良材の生産				
ウ			ウ					
エ			エ					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	06	項	02	目	02	大事業	中事業	予算上の事業名			事業番号
	一般会計	農林水産業費	林業費	林業振興費	07	06	粟倉木屋原線改良事業費					05581		
予算(千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	決算 (千円)	4 年度 実績	5 年度 実績	6 年度 実績	7 年度 見込		前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金			3,349			3,349	県支出金			3,349				3,349
町 債			3,000			3,000	町 債			3,000				3,000
その他特財							その他特財							
一般財源			1,384			1,384	一般財源			1,384				1,384
合計			7,733			7,733	合計(A)			7,733				7,733
財源名称	小規模林道整備事業補助金					従事正職員人数				1				1
	辺地対策事業債					延べ業務事務時間				50				50
						人件費計(千円)(B)				172				172
	最終予算額	7,733 千円	予算執行率	100.0%	トータルコスト(A+B)					7,905				7,905

4. 事業評価

対象と意図の見直し余地		成果の向上余地		全体総括(成果・反省点)、左記の評価結果の根拠、改革改善の方向等			
適切である		目標水準に達している					
方法・手段の改善余地		受益機会・費用負担の適正化余地		車両等の安全な交通が確保された。			
改善余地がない		公平・公正である					